

議 事 録	
会 議 名	令和8年第2回西枇杷島警察署協議会（定例会）
日時・場所	令和8年5月21日（木）午前9時30分から午前11時30分までの間 西枇杷島警察署 講堂
出席者	<p>1 委員 9 名（定数 10 名）</p> <p>後藤 鈴明 会長 田中 佳奈子 副会長  渡辺 容子 委員 林 宏明 委員  加藤 三穂 委員 岡田 卓哉 委員  岡 泰宏 委員 日置 功 委員  高橋 賞憲 委員</p>
	<p>2 警察署員 9 名</p> <p>三浦署長 山本副署長 神谷警務課長  伊藤会計課長 菅本生活安全課長 沢田地域課長  伊藤刑事課長 有田交通課長 道家警備課長</p>
	<p>3 有識者等</p> <p>なし</p>
<p>1 委嘱状の交付 署長から新規委員に対して公安委員会からの委嘱状を交付した。</p> <p>2 会長選出 委員の互選により、後藤委員を会長に選出した。</p> <p>3 会長挨拶</p> <p>4 警察署幹部紹介 令和8年3月から新体制となり幹部全員が自己紹介した。</p> <p>5 報告内容</p> <p>(1) 管内の治安情勢</p> <p>(2) 前回の意見・要望に対する具体的な施策の推進状況</p> <p>ア 前回の協議事項 警察の情報発信</p> <p>イ 前回の意見・要望</p> <p>(ア) 各種ツールの活性化による世代に応じた情報発信の強化</p> <p>(イ) 自治体・企業等と連携した体感型を含めた広報活動の実施</p> <p>ウ 施策推進状況</p> <p>(ア) 各種ツールの活性化による世代に応じた情報発信の強化  県警ホームページ「活動レポート」の更新  広報用テント・音声看板・特殊詐欺被害防止ステッカー等の作成  県警採用ホームページやInstagramへの投稿</p>	

(イ) 自治体・企業等と連携した体感型を含めた広報活動の実施

- ・ 名古屋芸術大学と連携した各種広報活動の実施
- ・ タクシー業者や理容業者組合と連携した取組
- ・ 管内自動車販売店や自動車用品販売店と体感型イベントの実施
- ・ 管内の小学校や中学校、防犯少年団と連携したイベントの実施

6 協議事項

特殊詐欺の防止対策

7 発言の要旨

- ・ 先日友人からインスタグラムでDMが来た際に、友人はすでにアカウントを乗っ取られていたが、電話番号を教えてしまったことがあった。事前に特殊詐欺の手口などを知っていれば引っかけからなかったと思うので周知が不足していると実感した。
- ・ 自宅でインターネットのプロバイダを変更したタイミングで、インターネット業者騙りの電話があつて騙されそうになった。タイミングによっては、いくら警戒していても引っかけってしまうことがあると実感した。
- ・ 闇バイトの話があつたが、学生への周知をする際には罪の重さなども併せて周知するべきである。バイト感覚の軽い気持ちで犯行を行っている学生が多いと思う。
- ・ 詐欺の具体的な手口などを短い動画等で何度も周知すれば効果的である。
- ・ 様々な手口が出てくる中で、その都度対策を周知するのも大事だが、今までの手口を分析して、対策として「これだけは守るべき5箇条」などに絞って周知し、県民の中に習慣化していってもらう方法はどうか。
- ・ 闇バイトの関係で、「犯罪者」「加害者」にならない意識付けをするために学校内での啓発活動を行う必要がある。
- ・ 詐欺被害に遭ってしまう人は、周りへの相談ができずに被害に遭っている場合が多いと思うので、周りに相談しやすい、一人で抱え込まない工夫も必要だと思う。
- ・ 妻の実家の仏壇に「詐欺撃退の札」と書かれた紙袋が供えてあり、その袋の中に啓発チラシなどが入っている。高齢者などには、あえて紙などのアナログな周知方法も有効だと感じた。仏壇や冷蔵庫など普段目に入るところにアナログな紙を置くのは効果があると思う。

8 意見・要望

- (1) 年代に応じた印象に残る広報啓発活動
- (2) 学校等と連携した取組の推進

9 その他

次回開催予定は、令和8年8月ころ